

2023年度 一般社団法人日本家政学会

色彩・意匠学部会報

No. 20

発行日 2024年3月31日
発行人 一般社団法人日本家政学会色彩・意匠学部会編集発行
事務局 〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地
東京家政学院大学 現代家政学科 1704室(井澤)
TEL: 03-3262-2749 FAX: 03-3262-2174(代)

《 2023年度総会報告 》

(一社)日本家政学会第75回大会が3年ぶりの対面開催となり、2023年度(一社)日本家政学会色彩・意匠学部会総会も対面開催で決議が行われ、承認された。

講演3 事例研究「色彩調和に関する色差の検討」
椋山女学園大学生活科学部
生活環境デザイン学科 教授

石原久代氏

議事

2022年度事業報告

1. 総会

2022年6月28日(火)～7月12日(火)

郵送による審議

2023年3月4日(土) 臨時総会

2. 役員会

2022年6月4日(土) オンライン会議

2022年8月29日(月) オンライン会議

2023年3月4日(土) オンライン会議

3. 連絡懇談会

2022年8月29日(月) オンライン懇談会(中止)

4. 2022年度夏季セミナー 夏季公開講演会

2022年8月29日(月)

会場: 椋山女学園大学(オンライン開催)

テーマ『デジタル画像における光と色』

講演1 「多原色光源装置による色彩研究の紹介」

名古屋市立大学大学院芸術工学研究科 教授

辻村 誠一氏

講演2 「スマートデバイスを使った効果的な写真

撮影」

名古屋学芸大学メディア造形学部

映像メディア学科 講師

村上 将城氏

5. 情報交換会

2022年8月29日(木) 椋山女学園大学(中止)

6. 共同研究打ち合わせ

随時メールにより実施

7. 2022年度春季セミナー 春季公開講演会

2023年3月4日(土)

会場: 愛国学園短期大学(オンライン開催)

テーマ『つくる責任、つかう責任、そして再生可能へ』

講演1 「ファッション企業によるSDGsの取組み」

(株)デファクトスタンダード 社長室 SDGs推進

池田 顕斗氏

講演2 「日本文化にみる古着活用のデザイン思考と

プラットフォーム」

尚絅学院大学 教授

玉田 真紀氏

2022年度 決算報告

2022年4月1日～2023年3月31日

収入の部	金額 (円)	支出の部	金額 (円)
前年度繰越金	289,378	通信運搬費	9,239
2022年度(令和4年度) 部会費	26,000	消耗品費	0
		印刷費	0
		会議費	0
		ホームページ関連費	5,238
夏季セミナー開催費	0		
夏季セミナー助成金(本部より)	63,871	夏季セミナー開催費(講師謝金)	77,959
春季セミナー開催費	0		
春季セミナー助成金(本部より)	39,439	春季セミナー開催費(講師謝金)	44,137
		雑費	1,100
		次年度繰越金	281,015
合計	418,688	合計	418,688

以上の報告通り相違ありません。

監事 石原 久代 印 (2023年3月31日)

井澤 尚子 印 (2023年3月31日)

2023年度 事業計画

1. 総会

2023年5月27日(土) 東京家政大学(日本家政学会第75回大会会場)

2. 役員会

2023年5月12日(金) オンライン役員会
 2023年9月6日(木) 夏季セミナー開催時
 2024年2月末～3月初旬 春季セミナー開催時

3. 連絡懇談会

2023年9月7日(木) 夏季セミナー開催時

4. 2023年度夏季セミナー 夏季公開講演会

2023年9月6日(水)・7日(木)

沖縄県博物館・美術館他

夏季公開講演会・解説付き展示見学

公開講演会テーマ

「色彩と意匠からみた琉球染織」

5. 情報交換会

随時メールにより実施

2023年9月6日(水) 夏季セミナー開催時

6. 共同研究打ち合わせ

2023年9月6日(水) 夏季セミナー開催時

7. 2023年度春季セミナー

2024年2月末～3月初旬を予定

2023年度 予算

2023年4月1日～2024年3月31日

収入の部	金額 (円)	支出の部	金額 (円)
前年度繰越金	281,015	通信運搬費	10,000
2023年度(令和5年度) 部会費	26,000	消耗品費	5,000
		印刷費	3,000
		会議費	2,000
		ホームページ関連費	5,600
セミナー等会費	430,000	セミナー等開催費	430,000
		次年度繰越金	280,415
合計	737,015	合計	737,015

2023年度役員構成

部会長: 花田美和子

副部会長: 畑久美子

常任委員:

<監事> 井澤尚子、小町谷寿子

<庶務> 畑久美子、戸田賀志子、水沼千枝

<会計> 内藤章江、佐々木由美子

<会報> 加藤千穂、白坂文

<夏季セミナー> 小町谷寿子、石原久代、加藤千穂
 鷺津かの子

<春季セミナー> 井澤尚子、内藤章江、畑久美子

<共同研究> 畑久美子、花田美和子

<ホームページ・SNS> 鷺津かの子、熊田亜矢子
 加藤千穂

オブザーバー 石原久代、内藤章江

<顧問> 芦澤昌子、橋喬子

2023年度 総会議事録

日 時：2023年5月27日（土）

場 所：東京家政大学F会場

議 長：部会長 花田美和子

出席者総数：19名

出席者：10名（井澤尚子、石原久代、加藤千穂、小町谷寿子、佐々木由美子、滝沢真美、戸田賀志子、畑久美子、花田美和子、水沼千枝）
委任状出席：9名

I. 議事

第1号議案 2022年度事業報告承認に関する件

加藤委員から2022年度の実業報告の提示があり、承認された。

第2号議案 2022年度決算報告承認に関する件

佐々木委員から2022年度の決算報告の提示があり、承認された。

第3号議案 2022年度会計監査報告

井澤委員から2022年度の会計監査報告の提示があり、承認された。

第4号議案 2023年度事業計画（案）承認に関する件

加藤委員から2023年度事業計画（案）の提示があり、承認された。

第5号議案 2023年度予算（案）承認に関する件

佐々木委員から2023年度の予算（案）の提示があり、承認された。

第6号議案 その他

議長より、2023年度役員の提示があり、承認された。

II. 部会研究について

花田委員より衣服のリユース促進に関する研究テーマが提案され、研究概要とスケジュール案が共有された。

III. 2023年度夏季セミナーについて

小町谷委員より、2023年9月6日～7日の夏季セミナーの詳細について報告があった。1日目は「色彩と意匠からみた琉球染色」をテーマにした公開講演会、2日目は見学会を行う。

IV. 2023年度春季セミナーについて

井澤委員より、「色のユニバーサルデザインの教え方—学校で・企業で・家庭で—」（仮題）をテーマに、春季公開講演会を開催する予定であることが報告された。講師は伊賀公一氏、滝沢真美氏、会場は東京家政学院大学にて開催予定である。

V. その他

・2022年度会報について

2022年度会報は編集委員の戸田委員、熊田委員を中心にまとめられ、部会員へは郵送（総会出席者には手交）される旨報告があった。

・2023年度部会員数について

現在の部会員数は25名であると報告された。

VI. 閉会

議長花田部会長はすべての議案の承認を確認し、閉会した。

《 夏季セミナー報告 》

2023年度 日本家政学会色彩・意匠学部会の公開講演会ならびに第45回夏季セミナーが2023年9月6日（水）・7日（木）に2日間の日程で開催された。今回のテーマは、「色彩と意匠からみた琉球染織」と題し、公開講演会、見学会を企画した。公開講演会の参加者は合計40名、見学会参加者は19名であった。

1日目の公開講演会は沖縄県立博物館・美術館（おきみゅー）を会場に、3名の講師をお招きして行われた。沖縄の風土で培われた多様な色材と色、色名の変遷、琉球染織の独自性と魅力について、また、芭蕉布の原材料の使用部位と作製工程で異なる地色について伝統と科学的な分析からお話を伺った。2日目の見学会は、復興中という貴重な首里城の見学、首里城から首里染織館 Suikara までの街並み見学、また首里染織館 Suikara の首里織工房、紅型工房、首里織展示場を見学した。

今回の公開講演会と夏季セミナーは、沖縄科学技術大学院大学（OIST）野村陽子氏、前原弥生氏、新里瞳氏との共催によって実現することができた。

<プログラム内容>

●9月6日（水）公開講演会

会場：沖縄県立博物館・美術館（おきみゅー）

美術館講座室

- 13:50～ 受付
- 14:20～14:25 開会の挨拶
- 14:25～15:05 講演1「色材からみる琉球染織」
 沖縄県立博物館・美術館
 博物館班・主任学芸員
 與那嶺 一子 氏
- 15:05～15:45 講演2「意匠からみる琉球染織」
 沖縄県立博物館・美術館
 博物館班・学芸員
 篠原 あかね 氏
- 16:00～16:40 講演3「芭蕉布 一採織・加工と繊維の色」
 沖縄科学技術大学院大学
 サイエンステクノロジーグループ
 野村 陽子 氏
- 16:50～17:50 展示見学（展示解説付き）

●9月7日（木）見学会

- 8:30 集合 東横イン那覇新都心おもろまち
 首里城 説明付き見学、首里城より街並み見学移動
 首里染織館 Suikara 首里織工房、紅型工房、首
 里織展示場など女将いのうえちず氏による解説 付
 き見学
- 14:20 ゆいレール儀保駅解散

1) 講演1

「色材からみる琉球染織」

講師：沖縄県立博物館・美術館

博物館班・主任学芸員 與那嶺 一子 氏

琉球染織の特徴は、湿潤な亜熱帯（気候）、東アジアのなかの琉球、小さな島々の集まり（島嶼性）という地理的要素が重要である。これらの自然的な要素をベースに琉球の染織は発展してきた。沖縄に現存する琉球の染織物を見ると、大きく二つに分かれる。一つは近隣国から舶載された染織物で、もう一つは琉球で製作された染織物である。技法で整理すると、平織による縞、緋織物と平織から展開する浮織物（花織、縞織、ロートン織等）があり、繊維素材も芭蕉、苧麻、絹、木綿等がある。さらに、後染の紅型等の型染、絞染、絵書（描き絵）など、琉球独特の技法による刺繍があり、その多様な染織の世界から、小さな島々の集まりである琉球の文化の深さをうかがい知ることができる。現在の沖縄の色材と史料にみられる色材

と色名について、そしてそれらの変遷についてお話頂けた。



2) 意匠からみる琉球染織

講師：沖縄県立博物館・美術館

博物館班・学芸員

篠原 あかね 氏

紅型は琉球を象徴する染物であるが、そこに染められている模様は、日本由来の模様がほとんどである。どのようにして紅型の意匠が生まれたのか、具体的な作例を紹介しながら考察し、琉球染織の独自性と魅力についてお話頂けた。紅型は、地理的・環境的要因と、琉球の人々の感性があったからこそ生まれた琉球独自の美しい染織品だといえる。紅型の意匠に注目することで、琉球染織の特徴とその魅力について伺うことができた。



3) 講演 3

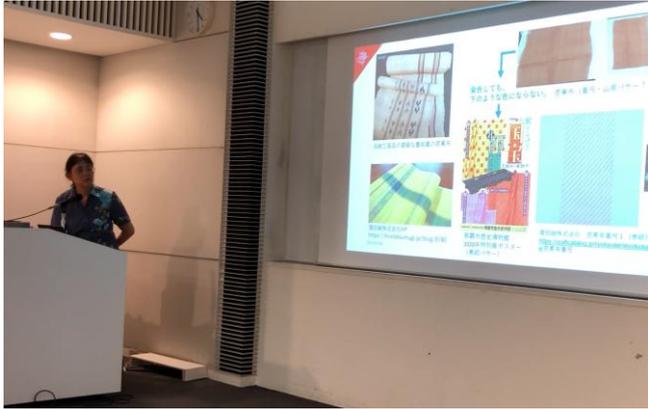
「芭蕉布 一採織・加工と繊維の色」

講師：沖縄科学技術大学院大学

サイエンステクノロジーグループ 野村 陽子 氏

芭蕉布は、沖縄のバナナ布で、琉球時代に発達し、その独特の技術が薄くて白いバナナ布を産み出した。芭蕉布は琉球王国内で広く使用されただけでなく、中国に輸

入された重要な交易品であり、江戸幕府にも献上された。白布は慶弔時用だけでなく、これに美しい極彩色や黒色を施し、上流階級用の衣服に用いられた。鮮やかな衣裳には芭蕉布でできたものもある。今回の講演では、何故、様々な色の芭蕉布が存在するのかを、科学的な見地からお話し頂けた。特に材料や繊維そのものの色に着目し、芭蕉布の作製工程のアルカリ煮沸と洗濯の工程における色の变化など具体的な色の違いや変化についてお話を伺うことができた。



4) 首里城、首里城からのまちなみ見学、Suikara 見学
4年ぶりの対面開催として1年以上前から企画した夏季セミナーである。首里城とSuikara 見学は、台風11から13号が次々と押し寄せ中、お天気に恵まれ、無事、開催することができた。首里城は、琉球王国の文化の結晶である。ガイドによる説明を受けながらその文化を堪能し、2019年正殿消失後の復旧工事も見ることができた。



首里城からSuikaraまで女将いのうちず氏に案内して頂きながら街並みを散策し、沖縄師範学校跡碑や沖縄県立大学、首里の水源としての役割などを観ることがで

きた。そして、2022年4月にオープンした首里染織館 Suikara (すいから) では、「琉球びんがた事業協同組合」と「那覇伝統織物事業協同組合」の後継者育成事業としての工房見学と最新の紅型や首里織の展示ギャラリーを見学した。



《 お知らせ 》

2024年度 色彩・意匠学部会 第45回夏季セミナー

2024年度夏季セミナーは、下記の通り開催いたします。部会員はじめ、部会員以外の方々のご参加も歓迎いたしますので、皆様お誘い合わせの上、ふるってご参加下さい。

期 日：2024年9月3日(火)、4日(水)

会 場：神戸松蔭女子学院大学

神戸市灘区篠原伯母野山町1-2-1

テーマ：ファッション都市神戸の伝統と未来

〈プログラム〉

9月3日(火) 14:00~17:30 予定

公開講演会

1. 『服の0円交換会(仮)』

株式会社ワンピース

石田 晴也 氏

2. 『衣料品リユースの自動化に関する研究~大学発アーバンイノベーション神戸2023採択課題(仮)』

神戸松蔭女子学院大学

奥村 紀之 氏

3. 『服のリユース、色彩と意匠からのアプローチ(部会共同研究経過報告)(仮)』

神戸松蔭女子学院大学

水沼 千枝 氏

9月4日(水) 9:00~16:00 予定

見学会

真珠関連企業 見学

真珠のアクセサリ製作体験

申し込み・問い合わせ先:

神戸松蔭女子学院大学 人間科学部 都市生活学科

花田 美和子

TEL 078-882-6598 (直通)

E-mail hana@shoin.ac.jp

◇ 詳細は、後日案内をさし上げます。

色彩・意匠学部会 ホームページ

平成 22 年度より、色彩・意匠学部会のホームページを開設しております。セミナーなどへの参加申し込み方法や部会における取組の紹介やイベント情報、会報のバックナンバーなどを掲載しています。是非ご覧ください。

また、令和6年よりInstagramを開始しました。今後活動の様子などを掲載していく予定です。こちらもぜひご覧ください。

色彩・意匠学部会ホームページ URL

<http://shikisai-isyou.sakura.ne.jp/index.html>

色彩・意匠学部会Instagram URL、QRコード

https://www.instagram.com/color.and.design_gram



COLOR.AND.DESIGN_GRAM

色彩・意匠学部会規約

第1章 総則

第1条 本会は、一般社団法人日本家政学会色彩・意匠学部会とする。

第2条 本会は、一般社団法人日本家政学会の全国的な会員の交流をはかり、色彩・意匠の学術・研究の成果を高め、家政学の発展に寄与することを目的とする。

第2章 事業

第3条 本会は、その目的を達成するために次の事業を行う。

1. 部会総会
2. 部会セミナー
3. 部会講習会・見学会
4. 部会研究会
5. 会報・成果の印刷物配布
6. その他、本会にて必要と認める事業

第4条 事業は、毎年4月1日から始まり、翌年3月31日で終わりとす。

なお、本会の事業計画・事業報告は、学会理事会に報告するものとする。

第3章 会員

第5条 本会は、次の構成員で組織する。

1. 正会員 原則として日本家政学会会員で、色彩・意匠学領域に関連する研究・教育に携わる者
2. 学生会員 色彩・意匠学領域に関心を持つ学生

第4章 役員

第6条 本会の運営を円滑にするために、次の役員をおく。

- | | |
|---------|-------|
| 1. 会長 | 1名 |
| 2. 副会長 | 2名 |
| 3. 常任委員 | 20名以内 |
| 4. 監事 | 2名 |
| 5. 顧問 | 若干名 |

第7条 部会長の選任、解任は次の通りである。

1. 会長は、日本家政学会会員に限る。
2. 会長の選任は、本会会員の互選によって選出し、部会総会にて報告承認を行い、学会理事会において承認を受ける。
3. 会長の解任は、総会にて行い、学会理事会において承認を受ける。
4. 会長が解任された場合は、前任者の残任期間は他の役員が職務を代行する。

第8条 副会長・常任委員・監事・顧問は、会員の互選によって選出し、総会にて承認、また、解任は総会にて行い、残任期間は他の役員が職務を代行する。

第9条 役員任期は2年とし、再選をさまたげない。

第10条 役員職務は次の通りとする。

1. 会長は、本会を代表し、会の運営を統括する。
2. 副会長は、会長を補佐する。
3. 常任委員は、本会の業務を遂行し、必要に応じて業務を分担する。
4. 監事は、本会会計の監査を行う。
5. 顧問は、必要な助言を行う。

第5章 総会

第11条 本会の総会は、原則として一般社団法人日本家政学会の年次大会時に開催する。また、適宜臨時総会を開催する事ができる。

第6章 会費

第12条 本会の会費は、年額千円とする。

第7章 会計

第13条 本会の運営経費は、会費による。

第14条 会計年度は、毎年4月1日から始まり、翌年3月31日
で終わりとする。

なお、本会の予算・決算報告は、学会理事会に報告する
ものとする。

第8章 規約の変更

第15条 部会規約の変更は、総会の議決による。本規約の変更
は、総会において承認を受け、理事会に報告する。

第9章 事務局

第16条 本会の事務局は、庶務責任者または会計責任者の所属
する機関内におく。

[付則]

この規約は、昭和53年4月1日より施行する。

この規約は、昭和58年8月26日より施行する。

この規約は、平成元年8月22日より施行する。

この規約は、平成15年8月28日より施行する。

この規約は、平成22年5月1日より施行する。

この規約は、平成25年5月18日より施行する。

申し合わせ事項

1. 役員の職務は庶務・会計・セミナー・企画の係を分担する。
2. 庶務・会計は会員の中から補佐を依頼することが出来る。
3. 事務局は会計責任者の勤務先住所とする。 (付2)
4. 会計は会計責任者名で口座を開設する。

(付1)：部会長連絡先

〒657-0015 神戸市灘区篠原伯母野山町 1-2-1

神戸松蔭女子学院大学 人間科学部 都市生活学科

花田 美和子

TEL：078-882-6598

e-mail：hana@shoin.ac.jp

(付2)：事務局連絡先

〒102-8341 東京都千代田区三番町 22 番地

東京家政学院大学 現代家政学科 1704 室 井澤尚子

(部会費振込み先)

※2020年4月に「ゆうちょ銀行総合口座」を開設しました。

今年度から次の口座番号に部会費をお振込みください。

〈ゆうちょ銀行から振込みの場合〉

記 号：11330

番 号：20334741

な ま え：シキサイ イショウガクブカイ

〈他金融機関から振込みの場合〉

店 名：一三八 (読み イチサンハチ)

店 番：138

預金種目：普通預金

口座番号：2033474

口 座名：シキサイ イショウガクブカイ

〈編集後記〉

1月1日に発生した能登半島地震により亡くなられた方々に
ご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々に心よりお
見舞い申し上げます。

皆様のご協力により、今年度も会報の発行に至りました。

2023年5月に、新型コロナウイルス感染症が5類に移行
し、今年度の夏季セミナーは久しぶりの現地開催となりました。
対面の良さを実感できる、楽しく充実したセミナーとなりました。

花田先生チームによる部会研究も進行中です。色彩・意匠学部
会員の皆様の益々のご活躍をお祈りしております。

(担当：加藤、白坂)